

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 「地域に開かれた学校」を発展させ、保護者や地域の方が学校づくりに主体的に参画し、「地域とともに生徒を育てる学校」の実現を目指します。
- ② より実効性のある学校関係者評価を実現し、教育活動を改善します。
- ③ 保護者や地域の方が、学校の教育活動に積極的に関わることを通して、相互理解を深めたコミュニティスクールを推進します。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

《浜田地区青少年を守る会との共催事業》

6月24日、浜田地区青少年を守る会にお世話いただいて、全盲で愛知県立岡崎盲学校の寄宿舎で生活する傍ら、シンガーとして活動をしている高校3年生、上田若渚さんをお招きし、本校吹奏楽部とのコラボレーション演奏会を開催しました。演奏会の前半は若渚さんのお話しと歌を聴かせていただきました。後半は若渚さんと本校吹奏楽部とのコラボレーションとして「さくら（森山直太朗）」「365日の紙飛行機」「世界に一つだけの花」を演奏しました。最後に、吹奏楽部の伴奏で、若渚と全校生徒で「ビリーブ（杉本竜一）」を歌いました。事前の打ち合わせ、音合わせを含む演奏練習等、限られた時間でたいへんでしたが、演奏会後は、音楽を通して深い絆ができました。



《あいさつ運動と下校見守り活動》

本校では、定期試験期間中の登校時と下校時に、教員の登下校指導に加え、生徒会規律安全委員による「あいさつ運動」を実施しています。また、あいさつ運動期間中に、本校PTA生活環境部の保護者の方にも加わってもらっています。

《地域清掃（阿瀬知川）》

生徒会の専門委員の一つである福祉委員会が中心となり、ボランティアを募り「阿瀬知川を美しくする会」の方々と合同で、阿瀬知川周辺の清掃を行います。

した。この取り組みは、10年以上続いており、今年度は川周辺の雑草取りとゴミ拾いを行いました。



《港地区調べ》

本校では、毎年1年生が「港地区調べ」と称して、校区周辺にある企業や事業所を訪問し、施設見学に加え、業務内容、事業所の役割や理念、活動の意義についてお話を聴かせていただいています。今年度は、7つのグループ（九鬼産業本社工場・日本トランスシティ・住友電装・四日市海上保安部・国土交通省四日市港湾事務所・四日市税関支署・四日市自動車学校）に分かれ、訪問先で学んだことを学校公開日に、グループ別でポスターセッション形式で発表しました。



《花植え活動》

本校の花植え活動は、10年以上も続いている活動です。この活動は毎学期、学年ごとで行っているもので、プランターに植えられた花で、開花が終わり、枯れたりしおれたりした植物を取り除き、新しい土壌と苗に植え替えるというものです。植え替えが完了したプランターは、校舎前に設置し、生徒だけでなく来校される保護者や地域のみなさんに、やすらぎを与えています。また、その一部は、本校オリジナル名札をつけて、JR四日市駅に寄贈しています。



《浜田地区防災訓練》

地区防災訓練は昨年度まで週休日に小学校を会場として行っていましたが、

部活動の大会や練習試合に参加したり、定期テスト前であったりして、中学生は参加する数が限られていました。今年度は、連合自治会と地区防災協議会に依頼し、テストや部活動の影響の少ない日を選定し、会場を中学校としていただきました。その結果、大多数の生徒が参加し、地区住民の一人としてシェイクアウト訓練を行い、本校会場まで近隣の方と一緒に避難し、様々な体験をすることができました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

コミュニティスクールが発足して6年目となり、いろいろな場所、様々な機会に、たくさんの方々に本校の教育活動にご支援・ご協力をいただきました。

上記の実践の他にも、11月17日に浜田地区子供諏訪太鼓の歴史について、講演していただいたり、12月7日に中部地区人権教育推進委員会との共催で、人権講演会を開催したりしました。また、昨年度全校生徒対象に防災に関する講演をしていただいた三重大学の川口 淳には、上述の地区防災訓練の総括と助言をしていただきました。

以上のように、様々な団体や地域の方々と、継続的に関わりを持ち、現状に合わせて、内容や方法を改善しながら、教育活動を行っています。学校公開日とは別に、外部の方にご支援・ご協力いただいた教育活動については公開しており、できるだけ多くの保護者や地域の方々に参観していただける工夫をしています。また、直接参観できない方のために、本校のホームページを日々、更新し、公開した日だけでなく日常の教育活動の様子についても、お知らせするよう努力しています。

日々の地道な学校教育活動の積み重ねと学校ホームページ等の情報伝達に加え、10年以上も続く、地域の方々との連携活動によって、本校学校教育に対する信頼が増すと同時に、期待が高まっているように感じています。

3 今後に向けて

本校には、これまで次に挙げる二つの課題がありました。一つ目は、地域行事に参加する生徒が増えないことで、二つ目は、学校公開日に参観していただく保護者が限られていることです。

今年度は一つ目の課題解消に向け、学校全体で「地域行事や地域活動の意義」を確認・共有して、場合によっては地域活動を部活動練習より優先して、生徒の参加を保障するようにする方針で取り組んだ結果、前述の地区防災訓練につ

いては、大多数の生徒が参加することができ、一定の成果が得られました。

二つ目の課題については、比較的参観していただきやすい土曜日に参観できるよう行事を計画するのは、部活動の対外試合、コンクールだけでなく、個人の習い事等で、当日欠席しなければならない生徒が予想以上に多く、容易ではなく、依然として、克服できておりません。

また、これまで地域清掃でお世話になっていた「阿瀬知川を美しくする会」が今年度をもって解散するということになり、来年度の阿瀬知川清掃をどのように進めるのかについて、運営の段階から見直しをしなければならなくなりました。

以上のように、いくつかの課題が残されているものの、着実に地域との関係は深まっています。これから、地域防災訓練で学んだ「社会の一員として」「防災の担い手として」活躍できる中学生を育成するために、今後も地域の方や団体と情報をやり取りするだけでなく、学校として様々な場面で共に行動に協働していきたいと思えます。

別紙B

平成29年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立港中学校

委員長 木村 高敏

校長 小林 伸宏

| 月 | 協議会の開催 | 活動内容 |
|----|--------------|--|
| 4 | | |
| 5 | | |
| 6 | 5日 第1回運営協議会 | 教育委員会より運営協議会委員の委嘱 平成29年度学校づくりビジョンの説明と承認 平成29年度年間行事計画と活動方針の検討 校内参観 |
| 7 | 3日 第2回運営協議会 | 自然教室、修学旅行等、1学期の学校行事報告 地域と協働して取り組んだ活動について報告 校内参観 |
| 8 | | |
| 9 | 13日 第3回運営協議会 | 体育大会の参加 夏休み中の生徒の様子と2学期当初の学校の状況について報告 2学期開催予定行事の案内と参観依頼 |
| 10 | | |
| 11 | 2日 第4回運営協議会 | 文化祭の参観 2学期の学校の様子と今後の教育活動予定報告 1年生の地区調べと2年生職場体験の取り組みの活動報告と今後の活動報告 |
| 12 | | |
| 1 | | |
| 2 | 5日 第5回運営協議会 | 今年度の学校行事及び教育活動の総括 学校自己評価の結果と考察の報告 来年度の取組予定と地域との連携・協力について 学校関係者評価の実施 |
| 3 | | |

